

新しい



両眼視野計 が実現する 視機能評価

UPDATE!

2022.10.14(fri)
12:20-13:20

第 9 会場
東京国際フォーラム
ガラス棟 7F G701



座長
相原 一 先生
東京大学

座長のことば

緑内障の構造と機能評価を行う検査機器が多々開発され、緑内障診療も時代とともに大きく進歩してきています。超高齢化社会を迎えるわが国においては、緑内障の早期発見、早期治療が求められています。早期発見のための検診においては残念ながら視野検査は普及していないのが現状です。その大きな理由は、検査サイドでは暗室と視野計の設置と検査員の負担、また被検者サイドでは片眼ずつの検査で体位も固定され、時間がかかる点にあります。従って、今後早期発見の課題としては、検査機器の設置および検査の実施が容易で、被検者の負担が少なく検査の信頼性を兼ね備えた視野検査の導入にあります。本セミナーでは、近年普及が広まってきている両眼開放視野計 imo vifa に注目し、使用経験のある先生方より検査の信頼性、臨床における有用性について自験例を供覧しながら講演して頂きます。多くの先生方のご来場をお待ちしております。



西田 崇 先生
カリフォルニア大学
サンディエゴ校眼科

アメリカにおける
アイモ vifa と HFA の比較



松本 長太 先生
近畿大学

アイモ vifa の臨床的特徴



松島 博之 先生
獨協医科大学

白内障術者による両眼開放型
視機能評価機の活用法